【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成30年8月16日(2018.8.16)

【公表番号】特表2017-536293(P2017-536293A)
【公表日】平成29年12月7日(2017.12.7)
【年通号数】公開・登録公報2017-047
【出願番号】特願2017-528533(P2017-528533)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｈ　3/00　(2006.01)
Ｆ２４Ｆ　13/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｈ　3/00　Ｆ
Ｆ２４Ｆ　13/02　Ｚ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成30年7月5日(2018.7.5)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２２】
実施形態の一つのモードによれば、装置は、第１の空気循環ダクト内に開口する第１の洗浄物質注入ダクトと、第２の空気循環ダクト内に開口する第２の洗浄物質注入ダクトと、を備え、第１の空気循環ダクトは少なくとも部分的に第１の渦巻き構造によって形成され、第２の空気循環ダクトは少なくとも部分的に第２の渦巻き構造によって形成され、第１の空気循環ダクトおよび第２の空気循環ダクトは、隔壁によって互いに少なくとも部分的に分離されている。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２５】
さらに、第１の洗浄物質注入ダクト、第２の洗浄物質注入ダクト、対応する接続ピースおよび／または対応する閉鎖手段は、第１の渦巻き構造および／または第２の渦巻き構造とともに、少なくとも部分的に一体として形成されうる。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２６】
そのため、製造されて組み立てられる部品の数が減少する。隔壁および渦巻き構造は、例えばプラスチックで作られ、射出成形によって形成されてもよい。
【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３３
【訂正方法】変更

【訂正の内容】
【００３３】
第１の空気循環ダクト３は、好ましくは、例えば射出によってプラスチック材料から単一部品として形成された第１の渦巻き構造１１および分離壁１０によって画定される。
【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３４】
第２の空気循環ダクト４は、好ましくは、例えば射出によってプラスチック材料から単一部品として形成された第２の渦巻き構造１２および分離壁１０によって画定される。
【誤訳訂正６】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３５】
したがって本体２は渦巻き構造１１，１２および分離壁１０の組立体によって形成される。
【誤訳訂正７】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００４６】
さらに、渦巻き構造１２は、第１および第２の洗浄物質注入ダクト１３，１６の一部を形成し、前記渦巻き構造１２は、第１および第２の接続ピース１４，１７ならびに対応する閉鎖壁１５，１８を、さらに形成する。最後に、渦巻き構造１１は第１の洗浄物質注入ダクト１３の一部を形成する。したがって、作られるべきおよび組み立てられるべき部品の数は限定的である。
【誤訳訂正８】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１つの第１の空気循環ダクト（３）と、少なくとも１つの第２の空気循環ダクト（４）と、第１の空気循環ダクト（３）および／または第２の空気循環ダクト（４）において空気流（Ｆ１、Ｆ２）を発生させる手段（５、６）と、を備え、
第１の空気循環ダクト（３）内におよび／または第２の空気循環ダクト（４）内に開口する洗浄物質注入手段（１３、１６）を更に備え、
第１の空気循環ダクト（３）内に開口する第１の洗浄物質注入ダクト（１３）と、第２の空気循環ダクト（４）内に開口する第２の洗浄物質注入ダクト（１６）と、を備え、第１の空気循環ダクト（３）は少なくとも部分的に第１の渦巻き構造（１１）を含み、第２の空気循環ダクト（４）は少なくとも部分的に第２の渦巻き構造（１２）を含み、第１の空気循環ダクトおよび第２の空気循環ダクトは、隔壁（１０）によって少なくとも部分的に互いから分離されている
ことを特徴とする自動車用の暖房、換気および／または空調装置（１）。

【請求項２】
少なくとも１つの蒸発器が、第１の空気循環ダクト（３）の下流および／または第２の空気循環ダクト（４）の下流に配置され、洗浄物質注入手段（１３、１６）は、対応する空気流（Ｆ１、Ｆ２）の循環方向で蒸発器の上流に配置される請求項１に記載の装置（１）。
【請求項３】
洗浄物質注入手段（１３，１６）は、対応する空気流（Ｆ１、Ｆ２）を発生させる手段（５，６）の、前記空気流（Ｆ１、Ｆ２）の循環方向の下流に、配置されることを特徴とする請求項１または２に記載の装置（１）。
【請求項４】
洗浄物質注入手段は、対応する空気循環ダクト（３，４）内に開口する洗浄物質注入ダクト（１３，１６）と、閉鎖手段（１５，１８）によって前記注入ダクト（１３，１６）から分離された接続ピース（１４，１７）と、を有することを特徴とする請求項１～３のうちのいずれか一項に記載の装置（１）。
【請求項５】
閉鎖手段は、穴が開けられることが可能な少なくとも１つの壁（１５，１８）を有することを特徴とする請求項４に記載の装置（１）。
【請求項６】
前記洗浄物質注入ダクト（１３，１６）は、概ね円弧形状を有する屈曲部（１９）を具備することを特徴とする請求項４または５に記載の装置（１）。
【請求項７】
第１の洗浄物質注入ダクト（１３）および第２の洗浄物質注入ダクト（１６）は、少なくとも部分的に、隔壁（１０）と共に一体として形成されることを特徴とする請求項１～６のいずれか一項に記載の装置（１）。
【請求項８】
前記第１の洗浄物質注入ダクト（１３）、第２の洗浄物質注入ダクト（１６）、対応の接続ピース（１４、１７）および／または対応の閉鎖手段（１５、１８）は、少なくとも部分的に、第１の渦巻き構造（１１）および／または第２の渦巻き構造（１２）と共に一体として形成されることを特徴とする請求項４～６のいずれか一項と共に請求項１または７に記載の装置（１）。
【請求項９】
請求項１～８のうちのいずれか一項に記載の装置（１）を少なくとも１つ備える自動車。